

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

岐阜県 地域セミナー 報告書

2018（平成 30）年 6 月 15 日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」岐阜県地域セミナーが開催されました。当日は、岐阜県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方 8 名（小学校 3 名、中学校 4 名、特別支援学校 1 名）にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成 30）年 6 月 15 日（金）14 時 00 分～16 時 25 分

会場：OKB ふれあい会館 第 2 棟 7 階 職員研修所 7B 研修室

主催：岐阜県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：12 名

プログラム：

14:00～14:05 開会の挨拶

岐阜県教育委員会 体育健康課 教育主管 中川 浩美 氏

14:05～14:25 オリンピック・パラリンピック教育について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長 深見 英一郎 氏

14:25～14:50 岐阜県におけるオリンピック・パラリンピック教育について

岐阜県教育委員会 体育健康課 中島 昌敏 氏

14:50～15:00 休憩

15:00～15:30 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の指導方法について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

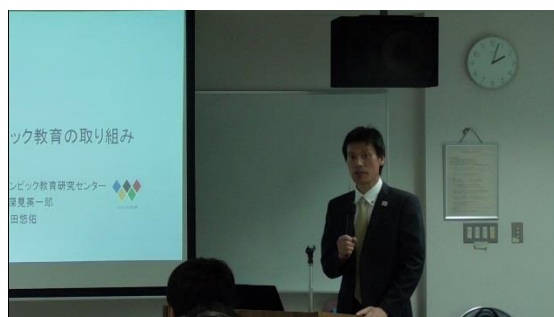
15:30～16:20 グループワーク・質疑応答

開会行事では、岐阜県教育委員会体育健康課教育主管の中川浩美氏より挨拶がありました。

次に、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの深見英一郎より、本事業概要の説明がありました。



中川 浩美 氏



深見 英一郎 副センター長

続いて、岐阜県教育委員会体育健康課の中島昌敏氏より、岐阜県のオリンピック・パラリンピック教育についての説明がありました。中島氏からは、まず、オリンピック・パラリンピックに対する児童・生徒の関心に関する、全国と岐阜県のデータを比較しながら、岐阜県では益々オリンピック・パラリンピック教育を推進し、オリンピック・パラリンピック、さらにはスポーツに対する興味関心を高めていく必要がある、という説明がありました。さらに、昨年度は県内の高等学校及び特別支援学校を中心にオリンピック・パラリンピック教育を展開した岐阜県では、今年度は小学校、中学校、そして特別支援学校を中心にオリンピック・パラリンピック教育を推進していく計画を立てた、ということでした。その際、昨年度の推進校はバックアップ校として位置づけ、昨年度の実践のノウハウをもとに、実践をサポートしてもらうような体制を構築していきたいということでした。このような体制づくりは、各推進校の負担を軽減するとともに、教育委員会を中心として校種の垣根を越えた循環を生み出すことでより広範にオリンピック・パラリンピック教育の影響を波及していくことを狙いとしている、ということでした。さらに、各推進校に派遣するオリンピック・パラリンピアンも、可能な範囲で岐阜県にゆかりのある方をお迎えし、岐阜県独自のオリンピック・パラリンピック教育の実現につなげていきたいというお話でした。

次に、本センター研究員の岡田悠佑より、学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の指導方法について、というテーマで他地域の実践や教材の紹介がありました。特に、体育科・保健体育科や総合的な学習の時間などの時間を活用したオリンピック・パラリンピック教育に加えて、様々な教科の授業を活用した実践が紹介され、より多様なオリンピック・パラリンピック教育の実現を目指してほしい、とのことでした。



中島 昌敏 氏



岡田 悠佑 研究員

最後に、小学校と中学校・高等学校・特別支援学校の2グループに分かれて、グループワークを行いました。それぞれのグループには、岐阜県教育委員会の方、県内2カ所の教育事務所の方、そして早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの者がそれぞれ加わり、各校の事業計画に合わせた質問や相談を受けていました。



グループワークの様子①



グループワークの様子②